

原 強 プ 第 2 1 号
平成 3 1 年 3 月 1 日

島 根 県 知 事 溝 口 善 兵 衛 様

中国電力株式会社
代表取締役副社長執行役員
原子力強化プロジェクト長
小 川 司 徳

島根原子力発電所における保守管理の不備等に関する
再発防止対策の進捗状況について（報告）

平成 3 1 年 2 月 1 4 日に開催された、第 2 1 回原子力安全文化有識者会議の議事概要について、平成 2 2 年 3 月 3 0 日付け消防第 2 7 3 8 号および平成 2 2 年 1 0 月 1 9 日付け消防第 1 0 5 4 号の申し入れに基づき、添付資料のとおりご報告いたします。

添付資料

第 2 1 回原子力安全文化有識者会議 議事概要

以 上

第21回原子力安全文化有識者会議 議事概要

- 開催日時 平成31年2月14日(木) 14時00分～16時15分
- 開催場所 島根県民会館2階 第2多目的ホール
- 出席者 [社外委員] 梅林委員, 亀城委員, 児玉委員, 高尾委員, 豊田委員(座長)
※野津委員, 山浦委員は欠席
[社内委員] 小川原子力強化プロジェクト長, 平野副社長, 岩崎常務

○ 議事内容

1. 開会あいさつ(小川幹事)

- ・ただいまから、「第21回原子力安全文化有識者会議」を開催する。
- ・委員の皆さまにはご多用の中、本会議に出席賜りお礼申し上げます。
- ・当社は、点検不備問題や低レベル放射性廃棄物に係る流量計の不正事案のような不正を二度と起こさないという決意のもと、再発防止対策の確実な実施に取り組んでいる。今回も最初の議題として、「点検不備問題」に係る再発防止対策の取り組み状況について報告させていただく。
- ・次に、2つ目の議題として「当社の原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて」報告する。今回は、原子力関係の社員を対象としたアンケート結果に基づき、来年度の取り組みの方向性を検討しており、その内容について、紹介させていただく。
- ・なお、前回、会議の場で報告したが、これまでは、低レベル放射性廃棄物に係る流量計の不正事案に対する再発防止対策の取り組みについて、別に項目立てて説明していたが、今回から安全文化醸成活動の中に位置づけて、引き続き取り組んでいる。
- ・最後に、情報提供として、島根原子力発電所「1号機の廃止措置の状況」と「2号機の新規制基準への適合性審査の状況」について説明させていただく。

2. 議事

- (1) 点検不備問題に係る再発防止策の実施状況・評価ほかについて
- (2) 原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて

資料に基づき、電源事業本部部長 古川および原子力強化プロジェクト部長 安村から「点検不備問題に係る再発防止策の実施状況・評価ほかについて」および「原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて」を説明した。

主な意見は以下のとおり。

[再発防止対策の実施状況に対する意見]

- ・再発防止対策の取り組みは、一定の成果が出ていると評価している。
- ・不適合判定検討会への情報提供元(発電所員, 協力会社, 検査官ほか)の割合で活動の定着状況を説明しているが、作業件数や作業従事者数に依存するのであれば、評価方法を工夫する必要がある。
- ・社員一人ひとりが地域との約束を守り続けるという意識は、今後も継続して持ち続けて欲しい。

[原子力安全文化醸成に向けた取り組み全般に対する意見]

- ・社員の意識の変化を分析するにあたり、二重構造（点検不備問題から得た課題に対する取り組みの成果と発電所が稼働していないことによる心理的影響）になっていると推察される。社員としてのほこりの維持・向上は、発電所が稼働していない影響を切り分けて評価することも必要ではないか。

(3) 情報提供：島根原子力発電所1号機 廃止措置の状況について

(4) 情報提供：島根原子力発電所2号機 新規制基準への適合性審査について

資料に基づき、電源事業本部部長 岩崎から「島根原子力発電所1号機 廃止措置の状況について」および「島根原子力発電所2号機 新規制基準への適合性審査について」を情報提供し、質疑を行った。

3. 閉会あいさつ（小川幹事）

- ・いただいたご意見の中で、不適合管理の仕組みやその評価の仕方については、不適合管理がきちんと機能しているということをお示しできるよう知恵を絞ってみたい。
- ・また、社員の心理の二重構造の課題については、懸念がないわけではないがどのように調査すれば把握できるのか思いつかない。気には留めながら、その裏返しとして「ほこり」について確認してきたという認識を持っている。ご意見を課題として受け止めさせていただくこととしたい。
- ・本日頂いたご意見・ご指摘を踏まえ、実効性のある取り組みに反映していきたい。「地域・社会の信頼あってこそその原子力発電所」という原点を十分認識し、地域を始めとする関係者の皆さまに信頼していただけるよう引き続き前向きに取り組んでいきたい。取り組み状況については、今後も本会議の場でご報告するのでご意見をいただきたい。
- ・有識者委員の皆さま方には、長時間に渡りご審議いただき感謝申し上げます。

以 上